

科目名	海洋生化学演習（副題：臨海宿泊演習）			復習用ビデオの録画・配信 —	開講期間	4月24日～4月26日			
	英文科目名	Marine Biochemistry		モバイル配信授業 —	開講時間				
受講定員等	担当教員	鈴木 信雄, 関口 俊男, 木谷 洋一郎			eラーニング —	開講場所	金沢大学 環日本海地域環境研究センター 臨海実験施設（石川県鳳珠郡能登町小木）		
	単位数	2単位				成績評価の方法	演習の理解度と熱心さ及びレポートで判定する。		
	定員数	15名							
	特別聴講学生等定員								
	科目等履修生定員								
	シティカレッジ聴講生定員								
	定員超過時の選考方法等	学内は抽選, 学外は受け付け順							
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)				科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認				受講料
				教員の指示に従う	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	教員の指示に従う
				9,800円	28,200円	29,600円			
科目の内容	タンパク質と遺伝子レベルの両面から一連の実験を行うには、時間を要する。そこで、臨海実験施設に宿泊し、一連の生化学実験を行う。実習では、食品をテーマにして、海藻を用いた薄層クロマトグラフィー、食品タンパク質の電気泳動、魚類あるいは海産動物からのDNAの抽出及びPCR法による遺伝子の増幅を行う。さらに実験の待ち時間等に、実験の応用例として教員の研究を紹介し、実験の面白さも体感させる。							その他特記事項	
								24日は、19時に金沢駅にマイクロバスで迎えに行きます。帰りは、学生は北陸鉄道バスを利用して、金沢に戻ってください。後日、詳細は受講者にお知らせします。パジャマ（ジャージでも可）、洗面用具を用意すること。なお、当施設が作成した健康申請書を提出していただきます。	
授業担当教員紹介			URL	http://rinkai.w3.kanazawa-u.ac.jp/					
ホームページ・メールアドレス等			E-mail	nobuos@staff.kanazawa-u.ac.jp					